

可燃ごみ排出量の状況

1 可燃ごみ減量化目標

現在、浪岡地区のごみについては、黒石地区清掃施設組合で処理しているところであるが、令和 8 年度の黒石地区清掃施設組合及び弘前地区環境整備事務組合によるごみ処理施設の集約化を見据え、浪岡地区を加えた可燃ごみを青森市清掃工場（年間処理可能量 84,567 トン）で処理できるよう、年間で 800 トン、5 年間の合計で 4,000 トンの減量となるごみ減量化目標を、令和元年度に定めたところである。

2 可燃ごみ排出量の推移（青森地区＋浪岡地区＋広域町村）

令和 5 年上半期（4 月～9 月）時点で、年間の可燃ごみ排出推計値は 79,025 トンとなっており、昨年度と比較して、3,800 トン減少する見込みである。

また、令和 2 年度、令和 3 年度、令和 4 年度及び令和 5 年度の 4 か年の合計では 3,200 トンの減量目標に対し、4,995 トン多い 8,995 トンの減量が図られる見込みである。

（単位：t）

区分	減量目標	内訳		目標設定時における目標排出量	減量実績	減量実績－減量目標	リサイクル率
		施策減量効果	人口減少に伴う減量				
令和元年度	—	—	—	87,663	—	—	—
令和 2 年度	800	200	600	86,863	3,264	2,464	14.3%
令和 3 年度	800	200	600	86,063	611	△189	14.4%
令和 4 年度	800	200	600	85,263	1,320	520	13.8%
令和 5 年度	800	200	600	84,463	3,800* ¹	—	13.8%
令和 6 年度	800	200	600	83,663	—	—	13.5%
5 年間の合計	4,000	1,000	3,000	—	8,995	4,995	※2

※ 1 令和 5 年度の可燃ごみ排出量については、上半期（4 月～9 月）時点での見込量

※ 2 令和 7 年度には、青森市清掃工場の破碎選別処理施設の再稼働を予定しており、リサイクル率が、1.5 ポイント上昇（R6：13.5%→R7:15.0%）すると推計している。

